

第291号 2011年 9月30日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「第4回震災研究連絡会～弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～」開催について
(大学院地域社会研究科)

本学大学院地域社会研究科では、「第4回震災研究連絡会」を下記により開催いたします。
震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

当日は2つの報告の前に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2011年 9月30日（金） 18：00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大1F コミュニティスペース
3. 内 容：

司 会：白石 睦弥（弘前大学特別研究員）

18：00～18：45 丸山 浩治（弘前大学大学院地域社会研究科地域文化研究講座2年）
「津波被災地域と埋蔵文化財」

18：45～19：30 櫛引 素夫（専門地域調査士・弘前大学地域社会研究会）
「震災とメディア（続報）」

19：30～19：45 情報交換

19：45～20：00 意見交換

問い合わせ先： 檜 榎 貢（地域社会研究科・教授）
電 話：0172-39-3938
E-mail：himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学緊急被ばく医療検討委員会 平成23年度 第2回講演会のお知らせ

平成23年1月に行われた茨城県国民共同訓練は、ダーティボム（放射線物質と爆薬を組み合わせた爆弾）によるテロを想定して行われており、放射線物質による事故への対応を訓練した国内初の取り組みでした。

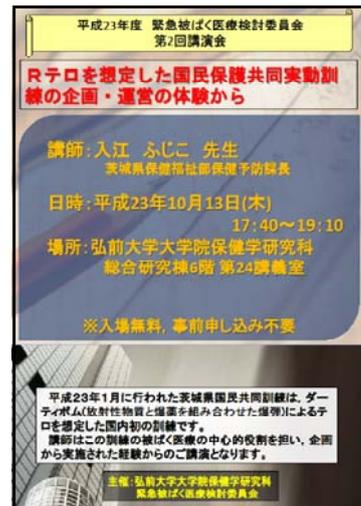
このたび、茨城県保健福祉部保健予防課長の入江 ふじこ氏を講師に迎え、有事の訓練体制について緻密に計画・実施され、特に被ばく医療の中心的役割を担ったご経験から、行政と医療機関との連携により同訓練の実施に至った過程についてご講演いただきます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年10月13日（木）
17:40～19:10（質疑応答を含む）
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科総合研究棟6階
第24講義室
3. 内 容：「Rテロを想定した国民保護共同実動訓練の企画
・運営の体験から」
4. 講 師：茨城県保健福祉部保健予防課長 入江 ふじこ 氏
5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会

※事前のお申し込みは不要です。どなたでもご参加できます。

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ
電 話：0172-39-5905
E-mail: jm5905@cc.hirosaki-u.ac.jp



「2011 青森地区講演会～大学と地域の交流を深める化学プラザ～」開催のお知らせ

1. 日 時：2011年10月14日（金） 15:15～17:30
2. 会 場：弘前大学理工学部11番講義室（2号館2F）
〔交通〕JR「弘前」駅前3番バス乗り場で弘南バス「小栗山」または「学園町」行に乗車して「弘前大学前」下車徒歩5分
3. 主 催：日本化学会東北支部
4. 後 援：弘前大学大学院理工学研究科
5. 内 容：
 - (1) 分子モデリング 初歩の初歩
(Wavefunction, Inc. 日本支店) 内田 典孝
 - (2) 違いを楽しむ
(弘前大学大学院理工学研究科) 宮本 量
6. 対 象：大学生・一般
7. 参加費：無 料
8. 参加申込方法：はがき、FAX、またはE-mailで「化学プラザ申込」と題記し、（1）氏名、（2）勤務先、（3）電話番号をご記入の上お申し込み下さい。
9. 申込先：下記問い合わせ先迄、お申し込みください。



問い合わせ先： 〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学大学院理工学研究科 川上 淳
電 話：0172-39-3566
FAX：0172-39-3541
E-mail: jun@cc.hirosaki-u.ac.jp

第5回 GERG研究会公開シンポジウム開催のお知らせ（再掲）

第5回シンポジウムの開催が下記の通り、決定致しました。

1. 日程：2011年10月 5日（水）
14：00～17：30
2. 場所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
3. 共催：財団法人鷹揚郷 腎研究所
4. プログラム

会長挨拶：西村 紳一郎 教授
(北海道大学大学院先端生命科学研究院)

当番世話人挨拶：大山 力 教授 (弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座)

来賓ご挨拶：遠藤 正彦 学長 (弘前大学)

基調講演：14：15～15：05

福田 穰 教授 (Sanford-Burnham Institute)

「Upregulation of α -dystroglycan-mediated cell adhesion and tumor suppression by down regulation of Fer tyrosine kinase signaling」

招待講演：15：05～15：45

中山 淳 教授 (信州大学大学院医学系研究科分子病理学分野)

「胃癌発生における胃腺粘液糖鎖の役割」

コーヒーブレイク&ポスターディスカッション 15：45～16：30

講演：16：30～17：30

1) 柿崎 育子 准教授

(弘前大学大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター 糖鎖工学講座)

「プロテオグリカンの糖鎖プロファイリングへのアプローチ」

2) 坪井 滋 部長

(鷹揚郷腎研究所 生化学研究部)

「細胞表面のO-glycanを利用した癌細胞の新しい免疫逃避機構」

3) 西村 紳一郎

(北海道大学大学院先端生命科学研究院・医化学創薬合同会社)

「糖鎖医薬品の研究開発を支援する新技術・デバイス」

閉会挨拶：GERG研究会副会長 吉川 浩二 (ID Business Solutions Ltd.)

懇親会 シンポジウム終了後1時間半(18：00～19：30)を予定しております。

5. 参加費：GERG会員(無料)、非会員(5,000円)



6. 懇親会：事前登録が必要（3,000円）

7. 詳細：<http://www.gfrg.org>

問い合わせ先： GFRAG研究会事務局
〒113-0033
東京都文京区本郷5丁目1-16 NP-IIビル2F
サイエンス・テクノロジー・システムズ株式会社内
E-mail：info@gfrg.org

弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会
平成23年度 第1回緊急被ばく医療研修報告会開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科では、被ばく医療に係わる医療スタッフを育成するために国内外の緊急被ばく医療研修会に参加して得られた情報を公開し、内容の共有化を図る目的で「緊急被ばく医療研修報告会」を開催しています。今回は、従来報告している研修のほかに、平成21年度から当保健学研究科が現職の看護職者及び診療放射線技師を対象に社会へ情報発信している「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト 現職者研修」と、放射線医学総合研究所（NIRS）が、国際原子力機関（IAEA）および米国の放射線緊急時支援センター/研修施設（REAC/TS）と共同で初めて日本国内で開催した被ばく医療トレーニング・コースに関する報告も取りあげました。

本研修報告会での情報共有が、参加者のみなさまの資質向上に貢献することを期待いたします。

1. 日時：2011年10月 6日（木） 17:40～19:00

2. 会場：弘前大学大学院保健学研究科6階 第24講義室

3. 対象：弘前大学教職員、弘前大学学部学生、
弘前大学大学院生、弘前大学医学部附属病院職員、
その他

※参加費無料。事前のお申し込みは不要です。

4. プログラム：

- ・挨拶 石川 孝 講師（生体機能科学分野）
- ・演題発表 ※発表時間は8分または15分（質疑応答3分を含む）

平成23年度 弘前大学大学院保健学研究科
第1回
緊急被ばく医療研修報告会
日時 平成23年10月6日(木) 17:40～19:00
場所 弘前大学大学院保健学研究科 第24講義室(6F)
入場無料 事前申込不要
座長：中村敏也(生体機能科学分野)
1. 緊急被ばく医療現職者研修開催報告～看護職を中心に～ 井瀧千恵子(障害保健学分野)
2. 緊急被ばく医療現職者研修開催報告～診療放射線技師を中心に～ 細川洋一郎(放射線生命科学分野)
座長：北宮千秋(健康増進科学分野)
3. 青森県「緊急被ばく医療初級講座」 川崎くみ子(障害保健学分野)
4. 原子力防災研修「救護所活動実践講座」 北嶋 結(障害保健学分野)
座長：西澤 一治(放射線生命科学分野)
5. 原子力安全研究所「緊急被ばく医療専門講座II(医療関係者コース)」 西嶋 陽子(放射線生命科学分野)
6. 2011 NIRS-IAEA-REAC/TS Training Course 北嶋麻衣子(障害保健学分野)
講師：野馬 均(保健学研究科)

《座長：中村 敏也 教授（生体機能科学分野）》 17:45～18:15

(1) 緊急被ばく医療現職者研修開催報告 ～看護職を中心に～
井瀧 千恵子 准教授（障害保健学分野）【15分】

(2) 緊急被ばく医療現職者研修開催報告 ～診療放射線技師を中心に～
細川 洋一郎 教授（放射線生命科学分野）【15分】

《座長：北宮 千秋 准教授（健康増進科学分野）》 18:15～18:31

(3) 青森県「緊急被ばく医療初級講座」
川崎 くみ子 講師（障害保健学分野）【8分】

(4) 原子力防災研修「救護所活動実践講座」
北嶋 結 助手 (老年保健学分野) 【8分】

《座長：西澤 一治 教授 (放射線生命科学分野)》 18:31～18:54

(5) 原子力安全研究協会「緊急被ばく医療専門講座Ⅱ (医療関係者コース)」
齋藤 陽子 教授 (放射線生命科学分野) 【8分】

(6) 2011 NIRS-IAEA-REAC/TS Trainig Course
北嶋 麻衣子 助手 (健康増進科学分野) 【15分】

・講 評 對馬 均 保健学研究科長

5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会企画部門
石川 孝
電 話：0172-39-5936
E-mail：ti3054@cc.hirosaki-u.ac.jp

文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成23年度第4回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ (再掲)

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、国内外専門機関の放射線科学専門家を通して被ばく医療に関する国内外の動向を学ぶことを目的に、「平成23年度第4回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」を開催します。

今回は、フランス原子力庁・フランス放射線防護研究所より、国際標準化機構 (ISO) の専門家2名を講師としてお招きし、現在検討が進められている放射能測定法に関する国際標準化の最新動向についてご紹介いただきます。

1. 日 時：2011年10月 7日 (金) 17:00～19:00

2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
2階大会議室

3. 講 師：フランス原子力庁・
ISO第85技術委員会第17作業部会座長
Dominique Calmet 氏

フランス放射線防護研究所・
ISO第85技術委員会第17作業部会専門委
Roselyne Ameon 氏

4. 演 題：「放射能測定法に関する国際標準化」
※講演は英語で行います。

5. 参加料：無 料

6. その他：事前申込不要。
参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。



問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所事務室
電 話・FAX：0172-39-5401
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku-pro/>

白神研究会2011年度秋季観察会「黄葉のブナ林探訪」のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年10月15日（土）
2. 場 所：くろくまの滝・奥赤石ブナ林木遺伝資源保存林・津軽森
3. 集 合：午前8時 弘前大学正門（ご自分の車でお出ででない方は、お申し出下さい）
4. 解 散：午後3時頃 アクアグリーンビレッジANMON駐車場
5. 定 員：20名（小学校高学年以上。小中学生の場合は保護者の同伴をお願いします）
6. 参加費：300円（保険100円・テキスト／雑費200円）
7. 申 込：弘前大学白神自然観察園
（中村さんか山岸さん、電話兼FAX 39-3707か39-3706）
※住所・氏名・電話番号・移動手段をお知らせください。
8. 締 切：10月13日（木）ですが、定員になり次第締め切ります。

※履き物はトレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴。服装はハイキング用のものでいいですが、雨具は必携です。手袋、帽子、虫除け、かゆみ止めをご用意下さい。お弁当、飲み物をお持ち下さい。地図は配布しますが、ご自身で用意される方は、1:25000地形図「川原平」図幅です。

問い合わせ先： 白神マタギ舎 牧田 肇
電 話：0172-88-1881

「国際リンゴ・フォーラム in 弘前」開催のお知らせ（再掲）

「国際リンゴフォーラム in 弘前」は、海外リンゴ産業の新動向を把握するとともに、日本のリンゴ産業の技術的・品質的・社会的な優位性・特異性を世界に向けてアピールし、海外リンゴ産業関係者との人的交流を促進することによって、青森県リンゴ産業のグローバル化への対応策を検討することを目的に開催致します。そこで、本邦および米・中・豪各国から栽培技術、流通、貿易、機能性の各分野の専門家を招いての講演・シンポジウムを実施致します。同時に国内外のリンゴ産業関係者に広く参加を呼びかけ、懇親会・エクスカージョンも催し、グローバルな人的交流の契機とします。

あわせて、今般の東日本大震災と、それに伴う福島原子力発電所事故による我が国農産物の風評被害が深刻化する中、青森県産りんごもその影響を受けることは必至の情勢となっております。とりわけ、海外の福島原子力発電所事故に対する関心は強く、我が国農産物の輸出情勢は極めて厳しい状況におかれています。そこで、本フォーラムでは、日本産りんごの安全性に係わる正しい情報を国内外に対して発信致します。

1. 日 時：2011年10月15日（土）～17日（月）

2. プログラム :

10月15日(土) 本シンポジウム

(1) 開会挨拶 9:00~9:10

(2) 祝辞 9:10~9:20

(3) 報告

第1報告 『日本のりんご育種の現状』

今 智之 (青森県産業技術センターりんご研究所) 9:20~10:00

第2報告 『日本のりんご市場・流通の現状』

平山 吉孝 (東京青果株式会社) 10:05~10:45

第3報告 『日本のりんご機能性研究の現状』

田中 敬一 (食品産業技術総合研究機構果樹研究所) 10:50~11:30

----- 昼 食 11:30~13:00 -----

第4報告 『世界のりんご事情』

Desmond O'Rourke (Belrose, Inc.・米国) 13:00~13:40

第5報告 『ピンク・レディーシステムの構築過程』

Jon Durham (Apple & Pear Australia Ltd.・豪州) 13:45~14:25

第6報告 『中国りんご生産流通事情』

苑 鵬 (中国社会科学院) 14:30~15:10

第7報告 『福島原子力発電所事故による汚染の現状と青森県産りんごの安全性』

15:15~15:45

(4) 総合討論 (パネリスト: 弘前市長および報告者) 15:45~17:30

(5) 閉会 17:30

(6) 懇親会 18:00~

10月16日(日) ミニシンポジウム

「日本の総合農協と東アジアの農業協同組合一果樹産地における役割」

座長: 大島 一二 (桃山学院大学) 他

(1) 解題「中国合作社の現状と課題」 張 曉山 (中国社会科学院)

(2) 「中国合作社の事例報告」 曹 斌 (中国社会科学院)

(3) 「日本の総合農協の位置づけ」 白石 正彦 (東京農業大学名誉教授)

(4) 「日本の総合農協の経営実態」 小林 光浩 (青森県農協中央会)

(5) 「農民技術指導と果樹振興」 長谷川 啓哉 (東北農業研究センター)

(6) 「果樹農協のマーケティング」 成田 拓未 (弘前大学特別研究員)

(7) 「総合農協における信用事業の意義」 大橋 治 (岩手大学大学院連合農学研究科研究員)

(8) 「韓国の農協組織の現況」 金 成学 (山形大学)

10月16日(日) りんご展示会:弘前市・JETRO共催(予定)

10月17日(月) エクスカーション

視察内容:生産・流通・販売、加工、技術(試験場)、りんご公園、農協(予定)

3. 会 場:2011年10月15日(土)

本シンポジウム:弘前大学創立50周年記念会館・みちのくホール(定員300名)

懇親会:弘前大学生協スクーラム

2011年10月16日(日)

ミニシンポジウム:弘前大学創立50周年記念会館・岩木ホール(定員100名)

りんご展示会:弘前パークホテル

4. 参集範囲:りんご関連団体及び一般(会場収容人数を限度とする)

5. 主 催:弘前大学、弘前大学農学生命科学部附属りんご振興研究センター

6. 実行委員会:「国際りんご・フォーラム in 弘前」実行委員会

実行委員長 荒川 修 (弘前大学農学生命科学部教授)

事務局長 石塚 哉史 (弘前大学農学生命科学部准教授)

事務局 成田 拓未 (弘前大学特別研究員)

E-mail: ringoforum2011@gmail.com (成田)

弘前大学総合文化祭「知の創造」のお知らせ(再掲)

『学んでみよう放射線』をテーマに市民公開講座を開催いたします。放射線の専門家が、放射線についての知識や、放射線による健康への影響についてわかりやすくお伝えします。さらには、福島原子力災害において本学の教員が実際に行ってきた看護活動についてもお伝えしたいと思います。

多数のご参加をお待ちしております。申込は不要ですので、参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。

1. 日 時:2011年10月21日(金)

17:30~19:30

2. 会 場:弘前市立観光館1階多目的ホール

3. テーマ:『学んでみよう放射線』

4. 内 容:

講演1 「放射線って何だろう」

細田 正洋 先生(弘前大学大学院保健学研究科助教)

講演2 「放射線の健康への影響~正しい知識を持ちましょう~」

西澤 一治 先生(弘前大学大学院保健学研究科教授)



講演3 「原子力災害における看護活動」
野戸 結花 先生（弘前大学大学院保健学研究科准教授）

5. 入場料：無 料

6. 主 催：保健学研究科研究発表会

7. 共 催：緊急被ばく医療人材育成プロジェクト企画部門、生体応答科学研究センター

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ
電 話：0172-39-5905

第36回弘前大学経済学会大会のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年10月22日（土） 14：00～17：40

2. 会 場：弘前大学人文学部視聴覚ルーム（人文学部校4F）

※参加登録の必要はありません。参加費は無料です。

3. プログラム：

(1) 開会挨拶 鈴木 和雄 会長（弘前大学人文学部教授）14：00～14：05

(2) 講 演

講 師 川端 望 氏（東北大大学院経済学研究科教授）14：10～15：40
演 題 「携帯ショップの奥は中国：大連ソフトウェア・情報サービス産業と日本」

(3) 研究発表

発表者 金目 哲郎 氏（弘前大学人文学部講師）15：50～16：40
発表題目 「地方交付税の一般理論と実際 ―現代日本の経済政策体系の変化のなかで―」

(4) 研究発表

発表者 内藤 周子 氏（弘前大学人文学部講師）16：50～17：40
発表題目 「会計基準のコンバージェンス―日本基準とIFRS―」

(5) 懇親会 18：10～20：10

弘前大学文京キャンパス周辺のお店を会場として、会費5,000円程度を予定しています。
参加される方は、学会開催の2～3日前までに事務局・柴田までご連絡下さい。

問い合わせ先： 弘前大学経済学会事務局 柴田 英樹
電 話・FAX：0172-39-3298
E-mail：cibat@cc.hirosaki-u.ac.jp

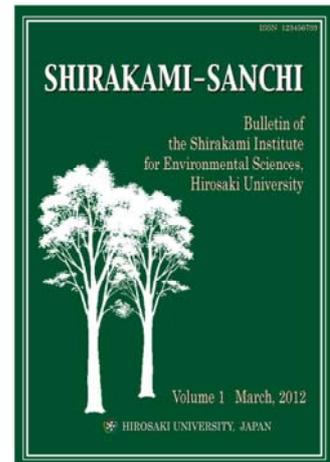
学 内 掲 示 板

弘前大学白神自然環境研究所からのお知らせ

研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”への掲載論文の募集のお知らせ

弘前大学白神自然環境研究所では、白神山地に関する学術的研究を推進するため、本年度より研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”（英文）を刊行いたします。白神山地とそれに関連する研究論文等を下記要領で学内より募集いたします。

1. 内 容：白神山地とそれに関連する全ての分野の研究論文、報告、総説など。
2. 使用言語：英 語
3. 締め切り：毎年10月31日
4. 投稿規定は白神自然環境研究所のホームページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>)で見ることができます。



問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所 中村 剛之
電 話・FAX：0172-39-3707
E-mail：dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012